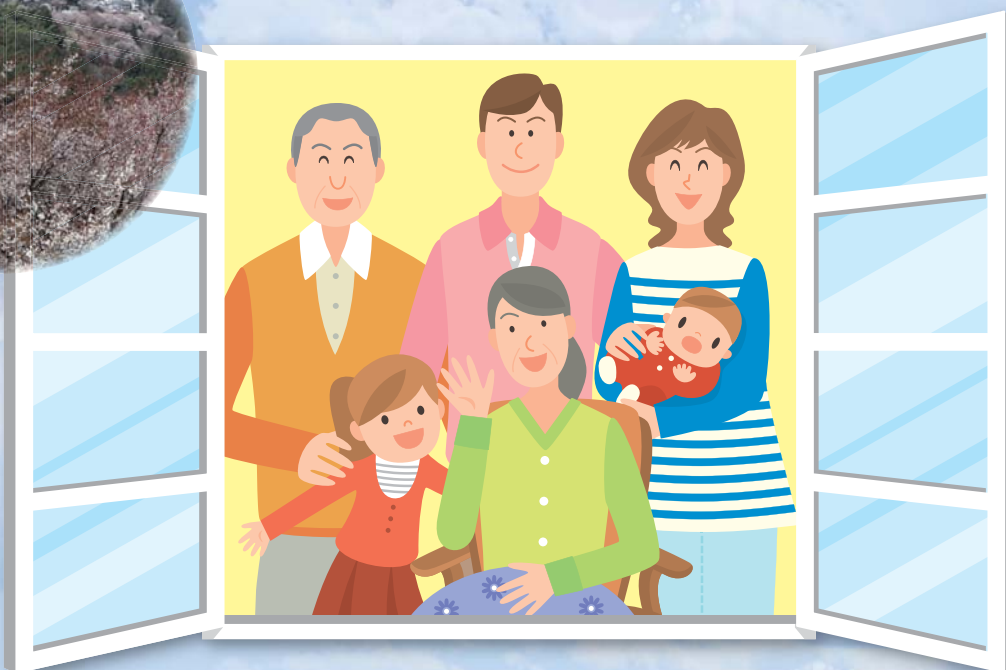


奈良県南部振興基本計画

奈良県東部振興基本計画



概要版



平成27年3月
奈良県

策定の趣旨

- 紀伊半島大水害からの「集中復旧・復興期間」が平成26年度末で終了します。
- 「復旧・復興」から「地域振興」へとステージを移し、さらなる取組を進めるため、これまでの『南部振興計画』『東部振興計画』と『復旧・復興計画』をあわせた新たな計画として、『南部振興基本計画』及び『東部振興基本計画』を策定しました。

計画の対象地域

南部地域

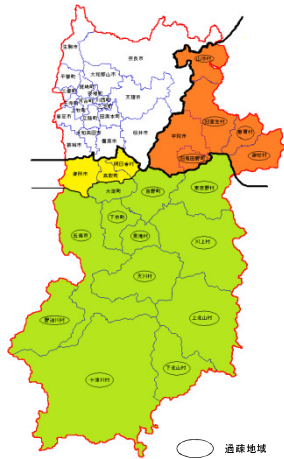
五條市、吉野郡(吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村)

南部地域と同様の課題を抱える地域

御所市、高市郡(高取町、明日香村)

東部地域

宇陀市、山辺郡(山添村)、宇陀郡(曾爾村、御杖村)

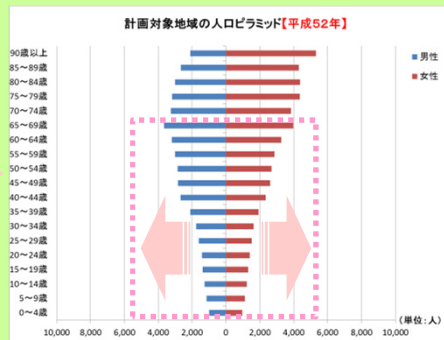
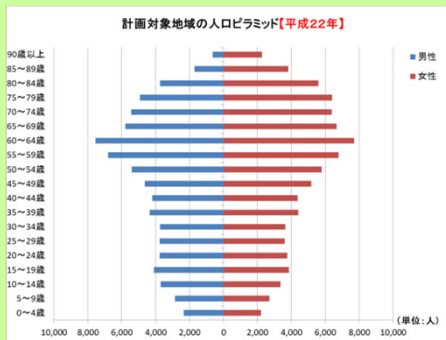


計画の構成

『南部振興基本計画』
『東部振興基本計画』
計画期間 平成27年度から平成32年度

『アクション・プラン』
『基本計画』に基づき具体的に取り組むことを記載
PDCAサイクルによる進捗管理を行い、毎年度更新

目指す姿のイメージ



人口ピラミッドを
トルネード(竜巻)型
から**釣鐘型**へ
移行することが必要

若者・子育て世代を
ターゲットにするなど、
人口を増やすため、
**あらゆる施策を
総動員**

目標

	訪れてみたくなる地域づくり (交流の促進) (H25→H32)	住み続けられる地域づくり (定住の促進) (H26→H32)
南部	観光入込客数 445万人→550万人 宿泊客数 50万人→55万人	人口の社会増減 △1,187人→プラス
東部	観光入込客数 221万人→280万人 宿泊客数 13万人→15万人	人口の社会増減 △434人→プラス

南部東部地域が目指す姿

頻繁に訪れてもらえる地域になる (「交流」の促進)

南部東部地域を元気にしていくためには、まず、南部東部地域に都市部から多くの人に「頻繁に訪れてもらう」ことが必要です。
訪れる人が増えることは、訪れた人の消費により地域経済が活性化(「しごと」の確保)するとともに、そこで住もうと考える人の増加にもつながります。

ステップ1 認知(地域を知ってもらう)



ステップ2 情報交流(地域に興味を持ってもらう)



ステップ3 交流(観光)(地域に来てもらう)



ステップ4 トライアルステイ(地域にお試しで住んでもらう)



ステップ5 二地域居住(地域にときどき住んでもらう)



ステップ6 移住(地域に移り住んでもらう)



ステップ7 定住(地域になじんで住み続けてもらう)

交流

将来的に
移住・定住
につなげて
いく

移住
定住

住み続けられる地域になる (「定住」の促進)

この地域を「住み続けられる」地域にしていくことも重要です。
仕事の確保や医療・福祉、教育などの充実、災害への備えなどを進め、今住んでいる人や移住してきた人が、将来にわたって住み続けられる地域にしていくことで、地域の維持、活性化が可能となります。

訪れてみたいくなる地域づくり(交流の促進)

移り住んで
もらう

魅力を発見する、 創る

①特色ある食と宿泊施設等の整備推進

- ・「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」との連携の下、「食」と「泊」を売り出すオーベルジュの整備とネットワーク化を推進
- ・農家民宿等、特色のある宿泊施設の整備を支援 など

②美しい景観づくり

- ・「なら四季彩の庭」づくりとして、四季折々に豊かな彩りを五感で楽しめる植栽や景観づくりを実施 など



③地域資源を活用した魅力づくり

- ・地域資源の魅力の再発見
- ・地域の魅力を活用した旅行商品等の開発 など

④多様なスポーツ施設の整備

- ・アウトドアスポーツを楽しむことのできる施設の整備促進
- ・京都府、和歌山県と連携した広域自転車道の整備 など



知ってもらう

○情報発信の強化

- ・観光キャンペーンの実施
- ・JAならけんまほろばキッチン内観光案内所や道の駅等における観光情報の提供と市町村等と連携したイベントの実施
- ・首都圏等での観光情報発信の強化
- ・「観光大使」を活用した広報活動の実施
- ・外国人観光客誘致キャンペーンの実施 など



訪れてもらう、 体験してもらう

①スポーツイベントの開催

- ・南部東部地域の地形や自然を活かしたスポーツイベントの開催
- ・スポーツ選手の自主トレや合宿の誘致



②音楽・芸術イベントの開催

- ・「ムジークフェストなら」コンサートの開催
- ・野外音楽フェスティバルや芸術イベントの開催

③地域資源を活用したイベントの開催

- ・地域資源を活用した各種イベントの開催
- ・地域の伝統行事の活性化

④交通アクセスの支援

- ・駅等から観光地までの直行バスの運行や路線バス利用者に対する補助
- ・主要な観光地にアクセスする道路整備の推進 など



⑤おもてなし力の向上

- ・旅館経営者や市町村職員等を対象とした「おもてなしセミナー」の開催
- ・地域独自のおもてなしの取組の支援 など

⑥誘客促進の仕掛けづくり

- ・雑誌などと連携した誘客促進の仕掛けづくり
- ・観光地などにおける多言語表示や無線LAN・Wi-Fi整備の推進 など

住み続けられる地域づくり(定住の促進)

働きやすくする

①農産物等のブランド化・生産拡大の推進

- ・大和まな、大和寒熟ほうれん草など大和野菜の生産拡大による首都圏への供給拡大
- ・柿や茶の高品質・付加価値化によるブランド化
- ・ジャムやスイーツ麺類など付加価値の高い加工食品の開発 など

②「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進

- ・高級材だけでなく、伐採した木をすべて搬出して利用する林業の推進
- ・建築用材や合板、チップなど、用途ごとに受け入れる製材・加工施設の確保 など



③漢方のメッカ推進

- ・大和トウキの安定生産技術の開発
- ・薬用作物活用コンソーシアムの設置 など

④企業誘致の推進

- ・御所ICや五條北IC付近の産業用地への企業誘致の推進
- ・廃校を活用した企業誘致の推進 など

⑤地域の産業興し

- ・在宅ビジネスやテレワークの支援
- ・コミュニティビジネスの推進
- ・空き店舗を活用した起業の支援 など

暮らしやすくする

①健康、医療、福祉、介護の充実

- ・医療・介護などが連携した地域包括ケアシステムの構築
- ・「南奈良総合医療センター」の整備 など



②教育の充実

- ・全国から生徒が集まる魅力ある高校づくり など

③子育ての支援



④買い物等の支援

- ・地元スーパー等との連携による店舗づくり
- ・移動販売の維持・確保 など

⑤移動手段の確保

- ・地域のNPOによる有償運送（買物、通院） など

⑥文化の振興



⑦集落の維持・活性化

移り住んでもらう

①二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり

- ・都市部での移住セミナー開催
- ・奈良まほろば館等への移住コンシェルジュの設置
- ・集落単位の「地域受入協議会」の設置を支援
- ・トライアルステイ（移住体験）の促進 など

②二地域居住・移住を受け入れる拠点整備

- ・トライアルステイ施設の整備
- ・シェアオフィス、チャレンジショップ等の施設整備 など



③移住者の働く場の確保

- ・後継者を募集する事業所等と地域で働きたい移住希望者とのマッチング
- ・技術・知識修得のための研修など就業の支援
- ・「地域おこし協力隊」等の活用 など



いざというときに備える

①紀伊半島アンカールートの整備

②効率的・効果的な道路防災対策の推進

③土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧

④河道整備

⑤災害に強い森林づくり

⑥災害に強い情報ネットワークづくり

⑦地震に強い地域づくり

⑧エネルギーの確保

⑨防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承

⑩紀伊半島大水害の復旧の完了



奈良県 地域振興部 南部東部振興課

〒634-0003 橿原市常盤町605-5 奈良県橿原総合庁舎3階

[TEL] 0744-48-3015 [FAX] 0744-48-3135 [E-mail] nanbu@office.pref.nara.lg.jp

[URL] <http://www.pref.nara.jp/1638.htm>



奈良県